

全学

武蔵大学は、学園建学の三理想に基づき自立・対話・実践という大学の教育の基本目標を定め、これらをもとに各学部・研究科の人材養成の目的と教育研究上の目的を定めています。こうした本学の教育理念や教育目標を十分に理解し、グローバル市民として成長しようとする意欲のある次のような学生を受け入れます。

1. 本学での学修に必要な学力を有している人（知識・技能・思考力・判断力・表現力・発信力）
2. 広くリベラルアーツを学び、専門的な知識・課題解決力を身につけようとする意欲のある人（教養・知識・技能）
3. 基礎的な論理的思考力・判断力、さらに課題発見・解決に必要とされる十分な知識を身につけようとする意欲のある人（思考力・判断力・表現力・発信力）
4. グローバルな思考力および異文化を理解するために必要な外国語能力を身につける意欲のある人（外国語運用能力・異文化理解）
5. 多様な人々の人権を尊重し、主体的に他者と協働して社会に貢献しようとする意欲のある人（主体性・対話力・協働性）

多様な形態による入学試験によって、本学での学修に必要な基本的な学力や学ぶ意欲などを多面的に評価します。具体的な内容については、各学部・学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

○各入試形態別の入学者受入れ方針

本学の各入試形態で特に重視する項目は以下のとおりです。

一般選抜（一般方式、大学入学共通テスト方式）では、以下のような点を評価します。

- ① 本学での学修に必要な学力、即ち、知識・技能・思考力・判断力・教養や基礎的な外国語運用能力等を筆記試験にて評価します。
- ② 本学のディプロマ・ポリシーに掲げたグローバル市民を目指す受験生に対しては、英語の得点配分を他科目より高く設定したり、英語外部検定試験の一定レベル以上の資格・スコア等を重視します。

経済学部

経済学部は、学園建学の三理想、全学の教育の基本目標並びに全学の3ポリシーに基づき、独自の教育上の目的や人材養成の目的を定めています。即ち、自然科学、人文科学、社会科学の広範な教養を身につけ、専門的な知識を有機的に結びつける能力を持ち、社会に貢献しようとする意欲を強く持って行動できる人物を育成することが人材養成の目的です。そのうえで経済学部は、次のような入学者受入れの方針を具体的に定めています。

○求める学生像

【学部共通】

1. 経済学部全体および入学希望学科のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、そしてカリキュラム・ポリシーをよく理解し、本学部が設定した教育内容を学ぼうとする明確な意志を持っている人

- わが国および世界の経済や金融、および企業等の経営に興味をもち、主体的に研究課題を見つけ出し、解決に必要な情報等を自ら調べ、調べたことを基に自ら考え抜き、他者と協力しながら、明確な結論を導くことができる人
- 少人数制のゼミナールで、知識・技能、思考力・判断力、表現力、そして主体性を大学生活の中で身につけたい人

【経済学科】

- 勉学意欲と基礎的な学力を備え、国内外の現代的問題とくに経済の動向や財政問題に強い関心のある人
- 日本と世界の経済の歩みを歴史的にとらえることに関心のある人

【経営学科】

- 勉学に取り組む真剣な態度と基礎的な学力を備え、国内外の現代的諸問題とくに企業の動向や経営のあり方に強い関心のある人
- 経営学と結びついた情報コミュニケーション技術や情報教育に強い関心のある人
- 会計の基本的な仕組みから、隣接する分野（経済学、法律、ファイナンスなど）への応用まで、積み上げ方式でじっくり学びたい人

【金融学科】

- 真剣に学業に取り組む姿勢と基礎的な学力を備え、現代の諸問題とくに金融・ファイナンスの分野に強い関心のある人
- ファイナンス関係の知識と技能を身につけ、各種の資格を取得して卒業後の職業生活に活かしたいと願う人

○大学入学までに習得することが望ましい教科・科目、能力等

英語・国語・数学・地理歴史・公民については、高等学校等の段階で学ぶべき基礎的な学力を身に付けておくことが望まれます。

教科・科目	求められる水準
外国語（英語）	基礎的な4技能（聞く・話す・読む・書く）を意識的に学んでいることが望まれます。
国語	文献の読解力や自分で調べたり考えたりしたことを伝える発信力となる基礎能力を有していることが望まれます。
数学	基礎的な知識を有していることが望まれます。
地理歴史・公民	多面的な視点から社会現象を理解し、分析するためにできるだけ幅広く学習していることが望まれます。

○一般選抜の受入方針

経済学・経営学・金融学を基盤とした専門知識を使って、現代社会の諸問題に対応できる能力を養うために必要とされる幅広い基礎学力を評価します。

人文学部

人文学部は、学園建学の三理想、全学の教育の基本目標並びに全学の3ポリシーに基づき、独自の教育研究上の目的や人材養成の目的を定めています。即ち、広く深い教養、言語能力及び国際感覚を培い、人文学の各分野における専門的知識と応用力を修得させることが教育研究上の目的であり、現代的な課題の解決に主体的に取り組む人物を育成することが人材養成の目的です。そのうえで人文学部は、次のような入学者受け入れ方針を具体的に定めています。

○求める学生像

【学部共通】

1. 高等学校等での学習に真剣に取り組み、基礎的な知識・技能、思考力、判断力、表現力を身につけ、主体性と協調性を備えていて、各学科のアドミッション・ポリシーをよく理解したうえで入学を強く希望する人
2. グローバル市民の自覚を持って自文化と異文化を深く理解する意欲のある人。特定の地域およびその地域の言語を集中的に学んで身につける一方、世界の諸地域の文化的多様性に目を向け、多言語・多文化学習を志す人
3. 主体的に研究課題を選び出し、自ら調べて考え抜き、他者と協力し、研究の分担を決めて自分の役割を果たす姿勢のある人。具体的には、少人数制のゼミナール、実習、卒業論文に能動的に取り組み、単独で深く学ぶ姿勢、協調と協働の精神、そしてリーダーシップを総合的に身につけたい人
4. 対話や討論を行いながら研究を推進し、現地調査も積極的に行うなかで明確な結論を導き出し、それらを文書および口頭で、現代的なツールを用いて効果的に表現する力を身につけたい人
5. グローバル・チャレンジ (GC) の各外国語プログラムに関しては、各外国語をさらに掘り下げて理解し、語学研修や留学を通じて当該地域の文化に関する知見を深め、その外国語を使って卒業論文を執筆する意欲のある人
6. グローバル・ヒューマニティーズ (GH) については、各学科での専門的な学びを土台としつつ、地域別の視野を超えた人文学全体の立場から物事を批判的に捉え直し、他学科の学生との意見交換を通じてさらに見識を深め、その成果を洗練された日本語や外国語の卒業論文としてまとめようという意欲のある人
7. 日本語教員プログラムについては、諸外国の人々に日本語を教えるなかで国際協力・国際親善の推進に寄与する意欲のある人

【英語英米文化学科】

1. 「英語・英語教育」「文学・芸術・メディア」「歴史・社会・思想」「交流文化・観光」の4領域を中心として、イギリス・アメリカをはじめとする英語圏の文化に強い関心をもつ人
2. 英語を集中的に学んでコミュニケーション能力を高め、海外留学に挑戦し、グローバル化する21世紀の世界において活躍できる実践力を身につけ、将来、英語を使う仕事に就きたいと願う人

【ヨーロッパ文化学科】

1. 「言語と文学」「芸術と生活」「歴史と思想」「環境と社会」の4領域を中心として、ヨーロッパ世界の文化に強い関心をもつ人

2. 英語だけでなくドイツ語やフランス語を集中的に学び、国際的なコミュニケーション能力を身につけ、海外留学に挑戦し、グローバル化する21世紀の世界において活躍できる実践力を磨き、将来、社会人として日本とヨーロッパの交流の担い手になる意志のある人。GCドイツ語プログラム、フランス語プログラム、英語プログラムに関しては、高度かつ集中的な語学教育を受け、留学をはじめとする国際交流に能動的に取り組み、当該言語での口頭発表や論文執筆などにも挑戦したい人

【日本・東アジア文化学科】

1. 「ことば・文学・思想」「芸術・身体・環境」「歴史・民俗・宗教」の3領域を中心として、日本および東アジアの歴史と文化に強い関心を持つ人

2. 英語だけでなく中国語や韓国・朝鮮語を集中的に学び、国際的なコミュニケーション能力を身につけ、海外留学に挑戦し、グローバル化する21世紀の世界において活躍できる実践力を磨き、将来、社会人として国際的に活躍したいと願う人。GC中国語プログラム、韓国・朝鮮語プログラム、英語プログラムに関しては、高度かつ集中的な語学教育を受け、留学をはじめとする国際交流に能動的に取り組み、当該言語での口頭発表や論文執筆などにも挑戦したい人

○大学入学までに習得することが望ましい教科・科目、能力等

本学部での学修に深く結びついている教科は英語・国語・地理歴史・公民などであり、これらの諸教科に関する十分な基礎知識の習得が望まれます。また分野に限らず、豊かな読書経験を持っていることが望まれます。

教科・科目	求められる水準
英語	基礎的な4技能（聞く・話す・読む・書く）を身につけていることが望まれます。
国語	読解力や、自分の考えを他者に的確に伝えるための表現力を身につけていることが望まれます。
数学・理科	サイエンスに対する基礎的な知識と好奇心があり、論理的な思考力と表現力を身につけていることが望まれます。
地理歴史・公民	世界と日本の現代的・歴史的事象についての基礎知識や、それらについて自分の意見を述べたり議論を行ったりする姿勢を身につけていることが望まれます。

○一般選抜の受入方針

高等学校等でバランスよく身につけた基礎学力を評価し、それらが十分な人を受け入れます。筆記試験により、各教科の知識・技能・思考力・判断力を評価します。各学科によって各教科の配点を変えています。

社会学部

本学の「学園建学の三理想」と「全学の教育の基本目標」、さらに、全学の3ポリシーを理解し、これを学ぼうとする明確な意志を持ち、高等学校等までの真剣な学習の成果として、社会で起こっているさまざまな現象や事象、人間の行動や意識等に対して興味・関心を持ち、社会学部で学ぶに十分な学力と学習態度・学習習慣を身につけていることを入学者受け入れの基本的な条件とします。

○求める学生像

【学部共通】

1. 社会のあり方や人間の行動等を学ぶ上で必要となる基礎学力を修得した人（知識・技能）
2. 社会で起こっているさまざまな現象や事象に対して興味・関心を持ち、主体的に行動することができる人（主体性・協働性）
また、異なる価値観や文化、性別などに偏見をもたず、多様な人々と良好な関係を築き、協働することができる人（主体性・協働性）
3. 社会で起こっているさまざまな現象や事象の中から課題を見出し、その原因や解決方法について、自ら情報を収集し、的確な対応、判断ができる人（思考力・判断力・表現力）
4. 他者の考えや主張に耳を傾けるとともに、自分の意見を述べたり表現したりすることができる人（思考力・判断力・表現力）

【社会学科】

社会学科では、社会のあり方や人間の行動を学ぶにたる基礎学力を持つ学生を受け入れます（知識・技能）。自分自身の問題を他者と結びつけ、人間と社会との関係性という視点から考察するとともに、社会的問題を敏感に発見しその解決方法について自ら情報やデータを収集・分析することができる学生の入学を期待しています（思考力・判断力・表現力）。また、さまざまな視点から新しい社会のあり方を構想しようとする意欲を持ち、異なる価値観を持つ多様な人々と協働できる学生を求めています（主体性・協働性）。

【メディア社会学科】

メディア社会学科では、社会のあり方や人間の行動を学ぶにたる基礎学力を持つ学生を受け入れます（知識・技能）。社会で起こっているさまざまな事象に関心を持ち、情報を収集して、自らの見解をまとめて表現することができる学生の入学を期待しています（思考力・判断力・表現力）。また、メディア情報を分析して読み解くと同時に、その成果を、異なる価値観を持つ多様な人々と協働しながら、情報コンテンツとして地域社会やグローバルな世界に向かって発信しようとする意欲を持つ学生を求めています（主体性・協働性）。

【グローバル・データサイエンス(GDS)コース】

学部共通のグローバル・データサイエンス(GDS)コースでは、国際化に対応できる語学力を修得するための基礎となる英語力、これからの社会で必要とされる社会調査の方法論や情報活用スキル、データサイエンスの修得の基礎となる数学力を持った学生を受け入れます（知識・技能）。グローバルな視点で、社会問題の存在に気づき、それについての情報を収集し、自分の見解をまとめてその表明ができる学生の入学を期待しています（思考力・判断力・表現力）。また、国内外の社会的問題をデータにもとづいて科学的に分析し、その成果を日本語のみならず英語等の外国語で発信したいという意欲を持って、異なる観点を持つ人と協働できる学生を求めています（主体性・協働性）。

○大学入学までに習得することが望ましい教科・科目、能力等

教科・科目	求められる水準
英語	十分な語彙力とともに、基礎的な4技能（聞く、話す、読む、書く）を身につけていることが望まれます。
国語	文章力やプレゼンテーション力等の表現力、文章読解力や多角的視点、思考力を身につけていることが望まれます。
数学	数学的知識および論理的思考力を身につけていることが望まれます。
地理歴史・公民	国内外の歴史や地理、社会的・政治的・経済的制度や体制についての基礎知識や、なぜそれが起こったのかその原因について理解しようという知的好奇心や調査力、考察力を身につけていることが望まれます。

○一般選抜の受入方針

大学において専門分野を学ぶために必要なバランスのとれた基礎学力を評価します。学力の3要素のうち、とくに知識・技能に重点をおきます。

GDSコース希望者については、数学と英語に重点をおきます。

国際教養学部

国際教養学部は、学園建学の三理想、全学の教育の基本目標並びに全学の3ポリシーに基づき、独自の教育研究上の目的や人材養成の目的を定めています。即ち、リベラルアーツ&サイエンスの精神に則った幅広い教養と深い専門知識に基づくグローバル化した社会への理解、高度な英語コミュニケーション力を涵養することが人材養成の目的です。そのうえで国際教養学部は、次のような入学者受け入れ方針を具体的に定めています。

○求める学生像

【学部共通】

1. 高等学校等での学習に真剣に取り組み、基礎的な知識・技能・思考力・判断力・表現力・発信力を身につけ、主体性と協働性を備えていて、各専攻のアドミッション・ポリシーをよく理解したうえで入学を強く希望する人
2. 概ね、CEFRのB1レベル以上に相当する高度な英語運用能力を有する人
3. グローバル化した社会の諸問題を深く理解し、グローバルリーダーを目指す志のある人。異文化理解と多様性に目を向け、他者尊重の態度を身につけることに意欲がある人
4. 自主的に知的関心を深め、本学の建学の三理想である「自調自考」を実践するとともに、ゼミナール等の協働が求められる学びの場においては、協調の精神を持って積極的に参加する意欲がある人
5. グローバル化した社会において活躍できる実践力を身につけ、大学院への進学、国際機関やグローバル企業への就職を志し、グローバルな問題への対応や交渉に携わりたいと願う人

【国際教養学科】

[経済経営学専攻]

1. 幅広い教養や高度な英語コミュニケーション力に加えて、経済・経営学分野の深い専門知識や統計的手法も兼ね備えたグローバルリーダーとして国内外で活躍することを願う人
2. ロンドン大学とのパラレル・ディグリー・プログラム (PDP) の履修や協定留学等を通じて高度な問題を英語で議論する能力を身につけたいと願う人

[グローバルスタディーズ専攻]

1. Global Relations、Global Communication Studies、Global Cultural Studies の3分野を中心として、国際関係、グローバル化した社会におけるコミュニケーション、現代社会、世界の多様な文化と社会に目を向ける分野横断的文化研究に強い関心をもつ人
2. 本専攻の英語学習カリキュラムによって、研究のために必要なアカデミック・イングリッシュを身につけ、海外留学に挑戦したいと願う人

○大学入学までに習得することが望ましい教科・科目、能力等

教科・科目	求められる水準
英語	十分な語彙力とともに、基礎的な4技能（聞く、話す、読む、書く）を身につけていることが望まれます。
国語	文章力やプレゼンテーション力等の表現力、文章読解力や多角的視点、思考力を身につけていることが望まれます。
数学	数学的知識及び論理的思考力を身につけていることが望まれます。
地理歴史・公民	世界と日本の現代的・歴史的事象、環境・地理、政治・経済、文化・社会についての基礎知識や、調査力、考察力、それらについて自分の意見を述べたり議論を行ったりする姿勢を身につけていることが望まれます。

○一般選抜の受入方針

- ① 本学での学修に必要な学力、即ち、知識・技能・思考力・判断力・教養や基礎的な英語運用能力等を筆記試験にて評価します。経済経営学専攻については数学に関する基礎学力を評価する試験を実施します。
- ② 本学のディプロマ・ポリシーに掲げたグローバル市民を目指す受験生に対しては、英語の得点配分を他科目より高く設定したり、英語外部検定試験の一定レベル以上の資格・スコア等を重視します。

<参考>

- ・ 建学の理念と教育の基本目標

<https://www.musashi.ac.jp/about/philosophy.html>



- ・ グローバル教育方針

<https://www.musashi.ac.jp/about/policy/global.html>



- ・ 武蔵大学の教育研究上の目的

<https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/purpose.html>



- ・ 武蔵大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/evaluation/diploma_policy.html



- ・ 武蔵大学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/class/curriculum_policy.html



- ・ 武蔵大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/student/admission_policy.html

